

一宮市男女共同参画推進懇話会会議録（概要）

会 議 名	令和元年度 第2回一宮市男女共同参画推進懇話会
開 催 日 時	令和元年10月16日（水）14：00～15：00
開 催 場 所	一宮市役所本庁舎 11階 1103会議室
出 席 委 員 氏 名	青山委員、一柳委員、井上委員、岡西委員、加藤(和)委員、加藤(英)委員、櫻井委員、渋谷委員、神野委員、土山委員、日置委員、光樂委員 計12名
欠 席 委 員 氏 名	伊藤委員、木村委員 計2名
出 席 した 市 職 員	事務局 総合政策部長、総合政策部次長、政策課長、政策課専任課長、同課長補佐、同主任、同主事 計7名
会 議 事 項	<p>1. あいさつ</p> <p>2. 議題</p> <p style="margin-left: 20px;">①正副会長の選出について</p> <p style="margin-left: 20px;">②男女共同参画社会づくり「標語」作品審査について</p> <p>3. その他</p> <p style="margin-left: 20px;">前回の懇話会の意見について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標3 成果指標「公立小中学校の教員における女性管理職の割合」の目標値について
会 議 内 容	
事務局（課長）	開会
事務局（部長）	あいさつ
事務局（課長）	<p>新しく委員になられた方をご紹介します。新しく委員になられました方は、ナンバー14の愛知県男女共同参画人材育成セミナー修了生の加藤和子様です。よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、次第の2、議題に入らせていただきます。</p> <p>まず、議題①「正副会長の選出について」ですが、懇話会設置要綱第4条第1項において、「懇話会には、会長及び副会長を置き、その選出は委員の互選による。」となっております。選出方法は、いかがいたしましょうか。</p>
岡西委員	<p>前回に引き続き、会長を日置委員、副会長には伊藤委員にお願いしてはどうでしょうか。</p>
事務局（課長）	<p>ただいま、会長には日置委員、副会長には伊藤委員にお願いしてはどうかという意見がありましたが、いかがでしょうか。</p>

<p>日置会長</p> <p>事務局（課長）</p>	<p>ご異議ないようですので、会長には日置委員、副会長には伊藤委員にお願いすることになりましたので、よろしくお願いいたします。</p> <p>会長あいさつ</p> <p>ありがとうございました。 それでは、次の議題に入らせていただきます。 議題②「一宮市男女共同参画社会づくり『標語』作品審査について」ですが、この作品募集は、平成27年度から行っており今年で5回目です。夏休み期間中に、男女共同参画についての標語作品を市内公立小中学生から募集しましたところ、小学生の部には786作品、中学生の部には485作品の応募をいただきました。 委員のみなさまには、先般、一次選考を行っていただいたところです。本日は、一次選考を通過した作品について、最終選考をお願いし、それぞれの部において、最優秀賞、優秀賞、入選の作品を決定していただきますので、よろしくお願いいたします。 選考手順につきまして、担当より説明申し上げます。</p>
<p>事務局（野村）</p>	<p style="text-align: center;">＜作品選考手順について説明＞</p> <p>《選考結果》 【小学生の部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最優秀賞 1名 ・優秀賞 2名 ・入選 3名 <p>《選考結果》 【中学生の部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最優秀賞 1名 ・優秀賞 2名 ・入選 3名 <p>これで審査はすべて終了いたしました。最後に、日置会長より全体の講評をいただきたいと思います。</p>
<p>日置会長</p>	<p>それぞれ良い作品が選ばれたと思います。小学生においても中学生においても、その人らしさを大切にして平等な社会にしていこうという気持ちがあふれていたように思います。男は男らしく、女は女らしくという性別役割分担意識は、幼いころからなんとなく親とか周りの人に植え付けられ、</p>

事務局（野村）	<p>大学生になるともう手遅れで変わりません。義務教育の小中学生の段階で、このような男女共同参画の作品募集が毎年行われていることは子どもたちにとってはとても良いことだと思います。今後もこのような小中学生の「標語」づくりをよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>長時間にわたり審査いただきましてありがとうございました。</p> <p>なお、審査結果の公表は、11月下旬に市ウェブサイトで行う予定でございます。また、入賞作品を活用しまして、男女共同参画啓発カレンダーを作成し、11月27日（水）より配布いたします。</p> <p>「標語」作品審査につきましては以上となります。ありがとうございました。</p>
事務局（課長）	<p>それでは、続きまして、次第3.その他について、担当より説明させていただきます。</p>
事務局（専任課長）	<p>前回の懇話会でご指摘いただいた件につきまして、ご報告させていただきます。</p> <p>第3次男女共同参画計画の基本目標3の成果指標「公立小中学校の教員における女性管理職の割合」について、令和元年度の『現状値』が17.7%にもかかわらず、5年後の令和5年度の『目標値』が17.0%となっています。これは、教職員は、市の職員ではなく、愛知県の教育委員会の職員ですので、人事権を持つ県教育委員会の計画の目標値にあわせて設定したところです。しかし、懇話会委員より、県の目標値に合わせるのではなく、市が率先して高い目標を出したほうが良いのではないかとのご意見を頂戴いたしました。</p> <p>懇話会開催後、市の教育委員会に確認したところ、市が独自で目標値を設定することは可能との回答をいただきました。前回の会議では、教職員は愛知県の職員であり、市の意向が必ずしも通るものではないとの趣旨の回答をいただきましたが、訂正させていただきます。</p> <p>また、既に目標を超えている状況から、数値目標をより高いものへ変更すべきとのご意見につきましては、この指標は、市内の小中学校の校長や教頭などポストが決まっている中での女性の割合であり、今回、目標値を上回っておりますが、教職員の年齢構成や男女の比率は毎年変動するものでございますので、割合をさらに高めるよう配慮はしてまいります。本計画の期間におきましては、目標値は変更せず、少なくとも目標値を割り込まないよう努めていきたいと考えております。</p> <p>なお、次期男女共同参画計画を策定する際には、「公立小中学校の教員における女性管理職の割合」を成果指標とするのであれば、市独自の目標値を設定したいと考えておりますので、よろしくお願ひします。</p>

井上委員	<p>男女の比率は年度によって変わるという説明がありましたが、それであれば目標を立てる意味がないのではないのでしょうか。そこを含めて年度ごとの目標をクリアしていくということを考えないといけない。翌年人員の配置によって下がるかもしれないということであれば、計画を立てる意味がないのでは。</p>
事務局（課長）	<p>計画を策定する際に、目標値を県の計画にあわせて設定したという経緯がございまして、令和元年度に17.7%になるという予測ができなかった状態での目標値の設定でした。本来であれば目標値を変えていくという形がとれればよろしいですが、計画策定時にこの目標値でいくと既に公表していますので、新たな目標値をにらみながら進捗管理をしていくように考えていきたいと思えます。</p>
井上委員	<p>管理職や管理職予備軍にどんどん女性の方を起用していかないと、数字は伸びてこない。そういうところまで考えていかないといけないと思えます。</p>
日置会長	<p>変えられないものは仕方がないですが、県の目標にあわせる必要はないですし、国の目標は『2020年30%』で、『2020年までに女性管理職を3割程度に』とっています。ですから、国の方針にあわせても良いわけですので、そのあたりを検討していただきたいと思えます。</p>
渋谷委員	<p>前回の懇話会で、なぜ17.0%に設定されたかという根拠を注釈で明記してはどうかということを申しましたが、誤解が生じないように人事権のある愛知県教育委員会の計画の目標値を根拠に設定した旨も明記することにしてはどうでしょうか。また、次回の計画の策定時には、このようなことが起きないように申し送りをしてもらいたいと思えます。よろしく願います。</p>
加藤（和）委員	<p>私は娘が小学生の時にPTAの会長をやりましたが、その時の先生が素晴らしい方でした。学校の先生が教頭先生や校長先生になる際は試験に受からないとなれないそうですが、当時の教務主任か校務主任の先生が、女性の先生に受けてみてはどうかと後押ししていたのがとても印象に残っています。目標値ももちろん大切なことですが、校長先生や現在教職についている人たちの意識改革や周りの環境が整うようになれば目標値に関係なく、もっと多くの女性の方が管理職になれるのではないかと思います。</p>
一柳委員	<p>以前、教職についておりましたが、実は、教職員全体を見れば、女性の</p>

事務局（課長）	<p>方が多いです。公務員ですので、給料格差はありませんし、産休育休についてもかなり優遇されています。育児短時間勤務や時差出勤、部分休業などいろいろ制度が整っていて、かなり制度としては恵まれています。</p> <p>割合からいけば、管理職は男女半分半分にならなければいけないのですが、なかなか女性の管理職が増えていかないのが実情です。システムとしては整っているけれども、なかなかうまくいかない。実際問題、中学校で言えば、校長、教頭、教務主任、校務主任、女性の方何人いるでしょう。働き方改革を進めるしかないかもしれませんが、そういったところから改革していかないと進んでいかないと思います。</p> <p>ありがとうございました。 これで議題につきましてはすべて終了しました。 なお、次回の懇話会は来年の7月を予定しております。 本日は、これにて閉会とさせていただきます。 ありがとうございました。</p> <p>会議終了（15：00）</p>
---------	--